◎　社会部門（小）

1　行事及び内容

(1)　研究主題　　「夢をもち、共に時代を切り拓く子どもが育つ社会科学習」
～社会への確かな理解と社会的なものの見方・考え方をもった子どもを育てる
社会科学習の在り方～

(2)　研究内容

①　研究推進部‥‥県小社研主催の研究会への出席、研究の方向性の検討、提案等
②　授業研究部‥‥授業の工夫・改善、データの保存・管理、提案授業の学習指導案検討等
◇　興味・感動・疑問を引き出す教材開発
◇　学習過程と学習指導の工夫
◇　子どもの学びやよさを見取る評価の工夫
３年生提案授業指導案の検討
「まちの人たちが受けつぐ行事」
～調べよう　天草太鼓～
③　地域調査部‥‥巡検等の実施による天草地域の産業、文化、自然の発掘、調査の実施等
④　資料作成部‥‥社会科授業に必要な資料の作成等

(3)　研究経過

①　５月１１日（土）　熊本県小学校教育研究会社会科部会理事会出席（アスパル富合）
②　５月２５日（土）　天草郡市小学校社会科研究会第１回定例会
（研究の方向性、研究組織、年間活動計画等の協議）
③　６月　３日（月）　第１回社会科研究委員会（天草教育会館）　※　小中合同
④　８月１６日（金）　熊本県小学校教育研究会社会科部会夏季研修会出席（玉名荒尾大会）
⑤　１０月　５日（土）　天草郡市小学校社会科研究会巡検【地域調査】
（河浦町　えびの幸福堂　講師：松中　祐二　氏）
⑥　１月２８日（火）　熊本県小学校教育研究会社会科部会研究大会（玉名荒尾大会）出席
⑦　２月　６日（木）　天草教育研究所社会科部門　公開授業（検証授業）、授業研究会
（天草市立本渡南小学校）

【本渡南小での公開授業の様子】

内　容：
(1)　オリエンテーション
(2)　公開授業（３年２組）
□単元名：「まちの人たちが受けつぐ行事」
～調べよう、天草太鼓～
□授業者：角中　泰英　教諭
（天草市立本渡南小学校）
(3)　授業研究会
□　助言者　髙木　政光　校長
（天草市立本渡東中学校）
□　司会者　有馬　恭彦　教諭
（天草市立天草小学校）

⑧　２月１０日（月）　天草郡市小学校社会科研究会第８回定例会（予定）
（本年度の反省、次年度への志向、研究のまとめ作成等）
※　その他、授業づくり、指導案検討会等の社会科定例会、各部会を開催

2　本年度の反省及び今後の課題

本年度は、研究主題等も新たなものとなり、検証授業によって研究の方向性を確かめることができた。また、地域調査（巡検）の実施による地域素材の教材化に向けた資料作成、社会科資料の改訂、小中相互の授業の参観等を行うことができた。

ただ、授業研究会への参加者が限られており、研究成果を天草全域に広げる方法を検討する必要がある。さらに、これまで実践してきた検証授業や地域素材について、資料の集積を図るなどさらに活動を充実し、研究を深めていきたい。

◎　社会科（中）

１　行事及び内容

（１）研究テーマ

「確かな学びを育む社会科学習」

～ＩＣＴを活用した授業実践～

（２）研究の目標

①社会の一員としての自覚や態度を身に付けた見方や考え方を養う「本戸に分かる授業」の明確化

②「意義がわかる」授業の構造化

③社会の一員としての自覚や態度を身に付けた見方や考え方を養うために有効な相手の共感を伴う言語表現活動

（３）活動経過

①　６月　３日（月）　第１回小中学校社会科教育研究委員会
・年間事業計画等作成　・県中社研理事会報道　・その他

②　７月１２日（金）　天草郡市中学校社会科教育研究会総会
・年間事業計画提案と教育課程実施上の課題等
・県中社研理事会報道　・その他

③１１月　５日（火）　第２回中学校社会科研究委員会
・郡市中学校社会科授業研究会の準備

④１２月２６日（木）　指導案検討会

⑤　１月　９日（木）　指導案検討会

⑥　１月１６日（木）　郡市中学校社会科授業研究会
会　場　天草市立栖本中学校
授業者：中山　俊輔 教諭　司会者：松本　哲也 教諭
記録者：植嶋祥一郎 教諭　助言者：髙木　政光 校長
講　演：演題「下浦石工の仁王像について」
講　師：八代市立美術館 未来の森ミュージアム
学芸員　石原　浩　氏

⑦　３月　　日（　）　第３回小中学校社会科研究委員会
・本年度の反省と次年度への志向

２　本年度の反省及び成果と課題

今年度の中学校社会科授業研究会の授業者は新任４年目の天草市立栖本中学校の中山俊輔先生にお願いし、快く引き受けていただいた。

当日の授業研究会では２年生の歴史的分野「明治維新」のまとめということで、これまでい習得したことを活用して、「明治政府は、複雑な国際情勢の中、国民の反対を受けながらも諸改革を強引に進めて独立を保ち、先進諸国に負けない国づくりを行ったことを指摘することができる」生徒の姿（本時の目標）をめざし、言語活動を「明治政府が行ってきた国家づくりに賛成か反対かを明確な根拠を示して説明することができる」と位置づけて、ペアやグループで意見を交換し、発表していく形で授業が展開された。生徒の興味･関心･意欲を喚起させるためにＩＣＴを活用し、資料の　提示も工夫されていた。生徒は習得事項をうまく活用し、大人顔負けのすばらしい意見を発表して　いた。若い先生方はもちろん、ベテランの先生も感心する質の高い授業を提案していただいた。

ここ１０年近く授業研究会は１月に開催しているが、１月だと３年生成の公民的分野の授業研究　会ができないので、次は開催時期等を考えていきたいと思う。